

人称詞	日本語は他の言語に比べて、人称詞が多い言語である。
一人称	「話し手が自分自身に言及する全てを総括する概念」
自称詞	私 俺 小生 僕
	自称詞しか取れない動詞がある。「～たい」/「～欲しい」 人称が文法に影響を与える
	私は、パンを食べたい。私はパンが欲しい。
	*あなたはパンを食べたい。(非文) →あなたはパンを食べた そうです 。(○) *彼は、パンを食べたい。(非文) →彼はパンを食べた がっている 。(○)

二人称	「話し手の相手に言及する言葉の総称」		
対称詞	人称名詞	「聞き手を直接さし、その場の状況に指す対象が変化する＝ダイクシス(直示)」 あなた 君 お前 貴様	
	定記述	「対称詞として使用される場合で指す対象が確定していて固有名詞のように働く語彙」	
		親族名称	お父さん お母さん おじいちゃん おじ おば
		上下関係	先生 先輩 後輩
		職階名称	社長 部長 課長
	職業名称	花屋さん 酒屋さん	
固有名詞	鈴木さん 花子ちゃん		
用法	呼格的用法	「相手の注意を引きたいときや、相手に感情的に訴えたい時に用いる」 「お父さん、ちょっとこれ持って。」(相手に呼びかけている。)	
	代名詞的用法	「ある文の主語または目的語として用いられた言葉が内容的に相手を指している」(＝言及用法) 「先輩は、料理が趣味なんですね。」	
	「あなた」の用法	①相手を非難する場合 「あなたですか、グラスを割ったのは。」 ②標語・スローガン 「あなたです、火事を出すのも、防ぐのも」※非難の意味はない ③妻が夫を呼ぶときの呼称 「あなた、電話よ！」 丁寧さは無いので、定記述や固有名詞を使う。 英語のYOUと違って、目上の人やお客には使えない。上司に：「*あなたの出張手配をしておきます」(非文)	
	疑似親族的な用法：	若手芸人が、先輩芸人を「お兄さん」と呼ぶことがある。 ホームステイのホストが、「お父さん」と自称することがある。	

対称詞	親族呼称の制限		目上の親族呼称	祖父祖母	父母	兄弟	叔父叔母	自称詞になり得る。⑤が理由
			目下の親族呼称	妻旦那	弟妹	息子娘	姪甥 孫	自称詞にはならない。
	①	目上の親族に、人称代名詞は使えない。		父に：「*この本はあなたのだろう。」（非文）				
		目下の親族には、人称名詞は使える。		弟に：「この本はお前のだろう。」（○） 妻に：「お前も食べたらどうだ。」（○）				
	②	目上の親族は通常、親族名称で呼ぶ、		母に：「お母さん、それとって。」（○） 祖父に：「おじいさん髭が長いね。」（○）				
		目下の親族には、親族名称は使えない。		弟に：「*弟、それとって」（非文） 娘に：「*娘、髪が伸びたね」（非文）				
	③	目上の親族の者を名前だけで直接呼ぶことができない。		祖父に：「*たろう、それとって。」（非文） 父に：「*ひろし、髪が長いね。」（非文）				
		目下の親族の者を名前だけで直接呼ぶことはできる。		弟に：「たろう、それとって」（○） 娘に：「はなこ、髪が伸びたね」				
				※英語母語話者は兄、姉でも名前で呼ぶ。				
	④	目上の親族に対して、名前で自称することはできる。		妹が兄に：「それは、花子の本だよ」				
目下の親族に対して、名前で自称することはできない。		母が娘に：「*ようこは、外出したくない」（非文）						
⑤	目下の親族に対して、相手の立場から見た親族名称という事ができる。		兄が弟に：「兄さんが先にやるよ」					
	目上の親族に対して、相手の立場から見た親族名称では言えない。		弟が兄に：「*弟が先にやるよ」（非文）					

三人称	「話して、聞き手以外の第三者を表す表現」	彼	彼女
他称詞	<input type="checkbox"/> 「彼」「彼女」は特定の人物について言及するものであり、不特定の人物を言及することはできない。 標語：「*彼女です、火事を出すのも、防ぐのも」（非文） 特定の人である必要がある。		
	<input type="checkbox"/> 夫や妻は身内の配偶者に言及する場合に使われる。		
	<input type="checkbox"/> 「職名+さん」：「お医者さん」も他称詞として使われることがある。		